

JARL コンテスト委員会が行った意見募集結果と QSO パーティ及びフィールドデーコンテストの開催日時について

当委員会では、JARL NEWS2019 年秋号及び JARL Web コンテストページに掲載し、2019 年 10 月 1 日から 10 月 30 日までの間、JARL 主催コンテストについての意見募集を行い、192 名(メール：190 局、郵便：2 局)の方からご意見をいただきました。

その後、2019 年 11 月 30 日にコンテスト委員会を開催して、意見募集結果についての考察と当委員会の考え方について検討したので、その内容を報告いたします。

これまで当委員会が行った意見募集の中では最多のご意見の提出があり、意見をいただいた会員と、意見募集にご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。

なお JARL NEWS の意見募集記事で、意見の提出先の記載が漏れていたことを深くお詫びいたします。

1. QSO パーティの開催日時について

意見募集の結果については次のような結果となった。

- ・ 2 日～4 日：28 件 ・ 2 日～5 日：13 件 ・ 2 日～6 日：0 件
- ・ 2 日～7 日：38 件 ・ その他の意見：84 件

その他の 84 件については、

- ・ 変更不要：32 件
- ・ 1 日～3 日：12 件 ・ 1 日～4 日：7 件 ・ 1 日～5 日：2 件
- ・ 1 日～7 日：10 件 ・ 2 日～10 日：2 件 ・ その他：19 件

などの意見が寄せられた。

この意見募集には 163 名からご意見をいただき、最も多かった回答は 1 月 2 日 9 時から 7 日 21 時までの開催であった。

その他の変更不要の意見の中には、参加者が分散して後半には相手が居なくなることや危惧する意見が多数含まれていた。

ご提出いただいた意見の中に 1 月 1 日からの開始日時とするものもあったことから、開始時間の変更についても検討した。1 月 1 日は初詣や家族団欒にあてていただくこととして、開始時間については変更しないこととなった。最も意見の多かった 1 月 2 日 9 時から 7 日 21 時までの日時に変更することを委員会の考え方として、理事会への QSO パーティ開催日時の変更としたコンテスト規程の答申をおこなうこととする。

開催日時の延長にともない、交信局数が 20 局に達した時点で、QSO パーティの参加を取りやめてしまう方も見込まれる。参加局を減少させないために、開催日の 7 日間連続で各日 5 局以上と交信された方を対象にハンディトランシーバーをお年玉として贈呈することのできるような施策を講じることを検討する。

2. フィールドデーコンテストの開催日時について

当委員会ではフィールドデーコンテストと全市全郡コンテストの日程入れ替えについて検討し意見募集を行った結果については次のような結果となった。

- ・ 入れ替え案に賛成：63件
- ・ 入れ替え案に反対：85件

併せて、開催時間についての意見募集については

- ・ 18時～12時：22件
- ・ 21時～15時：25件
- ・ その他：13件

意見募集の結果をふまえて委員会で検討した結果、フィールドデーコンテストと全市全郡コンテストの日程入れ替えについては見合わせることにし、改めてフィールドデーコンテストの開催日時について検討することとした。

意見募集を行う際にも説明しているとおり7月の6m AND Down コンテストとの入れ替えについては梅雨期であり、積極的に移動を勧められない。実際には移動する局は少なからずあり、6m AND Down コンテストを8月に実施することは熱中症予防上意味がないものとする。

ALL ASIAN DX コンテストとの入れ替えについては、6月の電信部門、9月の電話部門を真夏に実施することはコンディショナルにもふさわしくない。

そこでフィールドデーコンテスト単独での開催日を検討した。すでにほとんどの週末に国内もしくは海外コンテストが行われており、割り込むことは控えたいところであるが、9月第3週の土曜日及び日曜日であれば開催可能との結論に達したことから、フィールドデーコンテストの開催日時に変更することを委員会の考え方とした。

現在

6m AND DOWN コンテスト	7月第一土日
フィールドデーコンテスト	8月第一土日
ALL ASIAN DX コンテスト 電話部門	9月第一土日

変更案

6m AND DOWN コンテスト	7月第一土日
ALL ASIAN DX コンテスト 電話部門	9月第一土日
フィールドデーコンテスト	9月第三土日

8月のフィールドデーコンテストは、学校クラブや地域・職域クラブなどで親睦を兼ねた行事として定着しているところも多いことは十分に把握しているが、参加者の健康を第一に考えていただきたいと思っている。

3. その他

会員の方より今回の意見募集で次のような意見をいただき、当委員会では次のとおり考えている。

また、その他の意見については、今後のコンテスト規約等の見直しの際の参考としたい。

① 1.9MHz 帯のコンテストへの使用について

現在、総務省で MF 帯のアマチュアバンドプランの見直しが検討されていることからその結果をふまえて、1.9MHz 帯のコンテスト使用について改めて検討することとしたい。

② 50MHz 帯のコンテスト周波数について

50MHz 帯のコンテスト周波数について意見があり、当委員会で検討した結果、FT8 等の新たなデジタル通信運用局との混信等のトラブル防止等から次のとおりコンテスト周波数を変更することとして、意見募集結果の公表時に併せて委員会の考え方について発表する。

なお、特段の意見のない場合、委員会として理事会へのコンテスト周波数の見直しとしてコンテスト規約の答申をおこなうこととしたい。

モード	改正前 (MHz)	改正後 (MHz)
CW	50.250-50.300	50.050-50.090
SSB、AM	50.300-51.000	50.350-51.000
FM (変更なし)	51.000-52.000	51.000-52.000

③ コンテスト時の呼出周波数の使用について

VUHF 帯以上の周波数を使用して首都圏以外でコンテストに参加する場合、呼出周波数を使用せずに交信相手局を探すことが難しいことがあることから、当連盟としては呼出周波数の使用は禁止事項とはしておらず、この状況については現在でも変わっていないものとする。

なお、当然ながら呼出周波数での運用は長時間独占しないなどモラルある運用でコンテストに参加していただきたい。